

平成26年

第1回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

平成26年第1回仙北市議会定例会 市政報告

平成26年第1回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項並びに平成26年度の市政運営の基本方針等について申し上げます。

はじめに、岩手県野田村の災害廃棄物受入れについてです。

平成24年12月より開始した岩手県野田村災害廃棄物受入れは、平成25年12月18日まで、土日祝日を除く実日数169日、総量は4,154tで終了しました。市議会や市民の皆様のご理解、また向生保内地区連絡協議会のご協力に重ねて感謝を申し上げます。

2月7日、野田村の小田祐士村長が仙北市役所田沢湖庁舎に来庁され、感謝の言葉をいただきました。私も昨年8月の土石流災害から得た教訓を活かし、市民の安全対策を進めたい思いを伝えました。今後は安全なまちづくりについて、お互いに情報を共有することができそうです。

なお、災害廃棄物は安心できるものと判断していますが、今後も向生保内地区連絡協議会の皆様と協議の上、安全性を確認していきます。

次に、昨年10月31日から11月6日までの7日間開催された、第136回秋田県種苗交換会の協賛会の解散についてです。決算など事業後の全ての業務が終了したことから、JA秋田おぼこより出向の2人の職員は、11月末を持って帰任しています。12月25日には角館交流センターで市協賛会総会を開催し、事業実績の報告、収支決算の承認を得た上で解散しました。

席上で会員の皆様からは、苦労も多かったが充実した時間を過ごせた等、初開催に対する感謝の言葉を多数お聞きすることができました。心から有り難く思いました。

次に、市内各庁舎の耐震診断調査についての速報概要です。正式な報告は2月末日までとなっていますが、概要をお聞きする限りでも、角館

庁舎の一部の耐震性が非常に低いことが判明しています。角館庁舎と西側庁舎間の渡り廊下部分について、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い」との調査結果が出る可能性が高いとした説明でした。この部分には書庫があったり、また北浦教育文化研究所や食堂があります。人命に関わる事態にならないよう、対応を急ぎたいと考えています。

次に、台湾でのスキー及び修学旅行の誘客についてです。

1月10日から12日まで、佐竹敬久秋田県知事や鈴木洋一秋田県スキー連盟会長に同行し、台湾スキー協会の陳理事長、高豊(Gofun)旅行社の高副社長などと、スキー客誘致に関する協議を行ってきました。

私からは、たざわ湖スキー場の交通アクセスの良さ、素晴らしい雪質、スキー学校の充実ぶり、周辺の温泉や武家屋敷等の観光資源、それに同スキー場が来シーズンのフリースタイルスキー・モーグル競技のワールドカップ会場候補地であることなどを伝えました。なお、その後の1月17日と18日、高豊(Gofun)旅行社の鄭社長がたざわ湖スキー場視察のため来日しています。

一方、台湾からの修学旅行の誘致では、1月7日から11日に担当職員が訪台し、この時点で来年度1校の訪問が決まりました。また今回は現地の養護学校2校を訪問してきました。平成28年度開校予定の大曲養護学校せんぼく分校と、学校間交流を含めた受入れの可能性についての情報収集です。今後とも関係機関等との調整を進めます。

次に、一般会計補正予算についてです。

補正額は5億5,970万1千円の減額で、補正後の額は192億6,123万1千円となります。補正予算の大部分が事業精算見込みによる補正です。地域介護・福祉空間整備推進事業費補助金2,000万円、局所防災事業費、企業誘致対策事業費、岩瀬北野線整備事業費、災害復旧事業費などは繰越明許費とさせていただきたいと思います。

災害廃棄物受託事業が確定したことにより、事業収益で仙北市田沢

湖一般廃棄物最終処分場搬入路(市道)及び施設整備基金を創設し、搬入路と施設整備の財源に充当したいと考えています。

また、今回の補正で捻出できた財源のうち、1億6,000万円を財政調整基金繰入金の繰戻し金として計上しました。これで平成25年度の財政調整基金からの繰入金は、5億300万円となる見込みです。

なお、国の平成25年度補正予算関連事業については、仙北市でも事業費など予算内容が固まり次第、平成25年度の補正予算として本定例会に追加提案させていただきたいと考えています。併せて除雪経費についても、昨年や一昨年ほどではないとしても、予算不足が見込まれる場合は追加補正をお願いしたいと考えています。ご理解をお願いします。

次に、各部局等の主要事項並びに諸般の状況を申し上げます。

【市民生活部】

◇火災について

平成25年12月31日に西木町で建物火災が発生し、住宅(木造一部2階建・約244㎡)を全焼しました。負傷者はいませんでした。

原因は壁の中の木材が経年により乾燥状態になり、低温着火したものと推定されています。今後も関係機関と連携をとりながら市民の皆様にご火災予防を呼びかけていきます。

◇消防出初式について

仙北市消防出初式を1月6日に開催しました。消防団員約410人が参加し、午前11時50分から角館町武家屋敷通りから健康管理センターまで、沿道の市民から声援を受けながら分列行進を行いました。

午後2時から仙北市民会館で式典を行い、勤続40年以上の永年勤続や功労などの多数の団員を表彰したほか、消防活動や火災防御活動の協力者への感謝状を贈呈しました。

恒例行事で1年のスタートという位置付けです。団員には市民の生命・財産を災害から守る決意を新たにできたと感じています。

◇「仙北市災害連絡室」の設置について

大雪による雪害警戒と災害情報の収集等のため、1月15日午前10時に環境防災課内に「仙北市災害連絡室」(室長:環境防災課長)を設置しました。

業務内容は、市民の皆様に対する防災行政無線での屋根の雪下ろし等の注意喚起や、「広報せんぼく」による雪に関する相談窓口や留意事項等の情報提供です。今後の気象状況により、雪害対策部等の設置も検討し、対応にあたります。

◇乳頭山の遭難について

1月28日午後7時20分頃、乳頭山へ登山に行った9人(男性8人、女性1人)が帰って来ないと田沢湖生保内の民宿から警察に通報がありました。その後、この内の5人(男性)は民宿に無事戻りました。残り4人について翌29日、午前6時59分から警察署員等22人が捜索を開始し、午前11時45分頃救助、午後4時25分までに全員下山しました。この間、現地本部に環境防災課職員を派遣して捜索活動の後方支援等を行いました。

5人の中の1人の男性が股関節痛を訴え、1人の女性は左手指に凍傷を負ったと見られたことから、2人は仙北市内の病院に搬送されました。命に別状はないとのことでした。

◇風害について

2月15日午後3時頃、強風のため田沢湖生保内字赤石地区で小屋兼車庫(約104㎡)の屋根のトタンが(約58㎡)剥離し、電線に絡まる被害が発生しました。

【観光商工部】

◇仙北市観光大使の任命について

12月24日、日本オリンピック委員会理事の荒木田裕子さん(旧田沢湖町出身)を、2人目の観光大使に任命しました。

荒木田裕子さんは、2020年五輪の東京招致委員会理事も務めていて、招致活動での頑張りは記憶に新しいところです。また、日本バレーボール協会女子強化委員も務め、国内外を問わず活躍しています。スポーツ・ツーリズムの振興、選手合宿などオリンピック関係事業の誘致など、幅広い視点から提言をいただきたいと思います。

◇旧角館プラザホテル跡地の再開発について

旧角館プラザホテル跡地については、前回の定例会で報告したとおり、宿泊施設・物販施設・銀行施設・6次化拠点施設等の複合施設を整備する再開発計画が進められています。

現在のところ、再開発を行う範囲は旧角館プラザホテルの敷地で、先般、(株)北都銀行から打診された中町庁舎の敷地は含まれていません。この件については、今後事業主体からの要請内容に基づき協議を進めます。現段階でのスケジュールは、実施設計業務が3月に着手する見込みで、事業費、財源、建物の配置などが確定し、全体像が明らかになるまで、もうしばらく時間を要するようです。

なお、先月設立された事業主体である株式会社町家ホテル(代表取締役 佐藤永)では、角館プラザホテル建物及び土地を2月末に取得する予定と伺っています。

この計画は、産業振興と雇用対策、さらに観光振興の点からも、市にとっても大いに期待される事業であることから、できる限りの支援を検討しています。

◇工場閉鎖について

仙北市誘致企業第1号として、地域経済発展に貢献された(株)アラシダ角館工場が、1月末をもって48年間の歴史に幕を閉じました。

今回の決定は、11月決算を踏まえた株主総会での決定事項と確認しています。

解雇者は、正社員・パート職員を含めて29人となり、ハローワーク角館には各種手続について早急な対応をしていただくようお願いしています。

【農林部】

◇大規模肉用牛肥育団地完成について

地域の産業振興の拠点と期待される肥育団地整備事業が、年明けに完了しました。

竣工式は、(株)秋田仙北夢牧場の都合もあって、12月15日に関係集落の代表者にもご出席をいただいて、現地での開催となりました。同社は昨年10月から、あきた総合家畜市場から毎月約30頭の子牛を購入するなど、出荷に向けて本格的な飼育をスタートしています。今後は、地域農家との耕畜連携に最大の努力を傾注します。

◇秋田スギバイオエネルギーセンターの検証について

本施設稼働に対する状況検証作業は、1月25日開催の第5回検証委員会で計画された日程を終え、これまでの各委員の意見を踏まえた上で報告書を取りまとめる段階となっています。

経緯については、2月4日の産業建設常任委員会協議会でも報告していますが、検証委員会委員長からの報告書が提出され次第、速やかに議会にも報告します。

◇農林業関係被害の対応について

8月の集中豪雨により農林業関係も甚大な被害を受け、これまでその対応に努めてきました。

その結果、農業施設災害(西木地区3件)については1月に入札を終え、現在工事中です。国の補助率増高審査も終え、条例改正と相まって、受益者負担も大幅に軽減される見込みです。

林道関係は、年度内の発注、雪消えを待って工事に取りかかる予定です。

【医療局】

◇市立角館総合病院改築事業について

市立角館総合病院改築事業は、実施設計業務を各関係機関との協

議等を重ねながら進めている現状です。昨年12月10日付けの事業認定後、土地所有者との協議に時間を要していましたが、先ごろ基本的協議が整い合意に至りました。今後は各種許認可手続きを進めます。

ところで本定例会に、消費税改正に伴い関係条例の一部を改正する条例を上程しています。4月1日の施行日まで日数が限られていることもあり、改正案をご審議いただいていることや改正案の内容等を広報や掲示板等で市民や利用者の皆様へ前もってお知らせすることが適切だと考えます。議会の皆様にはご理解をよろしく申し上げます。

次に、市政運営の基本方針並びに主要な施策について申し上げます。